

工大コレクション展示

伴大納言絵詞

— 絵巻に見る応天門の変 —

展示期間：

2020年10月5日～
2021年1月29日

展示場所：

工大図書館 大宮本館（8号館）
2階 学術雑誌室

展示資料：

「伴大納言絵詞」上・中・下巻
(考古学会, 1910年)

※写真は本学所蔵資料、
「伴大納言絵詞（考古学会, 1910年）上巻」より

「伴大納言絵詞」は、平安中期（貞観8年）
清和天皇の世に大納言伴善男ともよしおが政敵の
左大臣源信みなもとのまことを失脚させようと応天門に
火を放ちその罪を負わせるが、陰謀が露見
し失脚するという顛末（応天門の変）を絵
巻としたもの。応天門の変から約300年後、
後白河天皇の命により常盤光長が描いたと
推測される。日本の国宝。（出光美術館所蔵）

本学所蔵の展示資料は「伴大納言絵詞」（考
古学会, 1910年）です。

大阪工業大学図書館